

補助事業番号 2022M-117
補助事業名 2022年度 医療機器の整備 補助事業
補助事業者名 日本赤十字社

1 補助事業の概要

新型コロナウイルス感染症が拡大している状況において、治療が必要な患者を受け入れ、安定した医療を提供し続けるために、重症化した場合に特に必要性の高い新生児用人工呼吸器の整備を行った。

2 予想される事業実施効果

新生児用人工呼吸器の整備によって、より多くの新型コロナウイルス感染症の患者の受け入れが可能となり、近隣の医療機関からの受け入れ要請にも対応することができた。

3 本事業により導入した機器

① 新生児用人工呼吸器 (<https://www.matsue.jrc.or.jp/pages/144/>)

呼吸不全の状態の患者を治療するために使用する機器であり、空気中の酸素濃度より高い濃度の酸素を肺に送ることや通常より高い圧をかけることで肺を上げ、呼吸を助ける、肺を休める役割をする装置。



新生児用人工呼吸器全体像



新生児用人工呼吸器拡大



建物標識

設置場所：【例：松江赤十字病院】

② 本事業に係る印刷物等

病院広報誌（現在校正中）

1. 病院広報誌「くつろぎたいむ」

令和4年度 松江赤十字病院

健康医学講座

YouTubeで公開します。ぜひご覧ください！

9月放映

**コロナの時代の
呼吸器ウイルス感染症と漢方**

講師 感染症科 部長 成相 昭吉

11月放映

**慢性腎臓病に立ち向かう
～塩分制限の必要性～**

講師 腎臓内科 部長 花田 健
栄兼課 主任 長谷 教代

お問合せ先 松江赤十字病院 医療社会事業課
TEL:0852-24-2111(代)
<https://www.matsue.jrc.or.jp/>

こちらからご覧いただけます

松江日赤 公式 YouTubeチャンネル

「公益財団法人JKA
競輪公益資金補助事業により整備」

新生児人工呼吸器

小児アレルギーについてご相談下さい
～PAEを取得した看護師がサポートします～

外来看護師 伊豆 理果

小児アレルギーエドゥケーター(PAE)は、アレルギー疾患の専門的な知識だけではなく、子供たちの発達に合わせた支援を行なうことができるコメディカルスタッフです。子供たちのやる気、自分でもできると自信を持ってもらえるように関わり、子供自身が治療に対して前向きに進める力を引き出す役割があります。患者様とご家族が安全で、安心した日常生活を送れるよう支援いたします。皆様のお力になれるよう、頑張っていきたいと思っております。

2. 病院広報誌「病院だより」

(5)
松江赤十字病院だより
第392号

新生児人工呼吸器

公益財団法人JKA
競輪公益資金補助事業により整備





分かれて意見交換を行いました。「まめネット会議サービス」を利用した退院前カンファレンスの有用性」や、「ACPの推進」、「退院患者への薬剤指導」

など様々な話題が話し合われ、「末期患者の急な退院は支援が間に合わない」、「病院のMSWになかなか連絡がつかない」など、厳しいご意見もいただきました。この交流カフェは毎月開催する予定です、関心のある方はがん相談支援センターまでご連絡ください、また、お声掛けした際はぜひご参加をお願いします。

ちなみに、この企画は当院のがん診療推進室のスタッフが、web会議の運営を行いました。院内外の参加者の募集、入室、web上でのグループワークなど、ほとんどトラブルなく運営を行うことができました。直接ふれあう連携も、ICTを活用した連携も一層推進して参ります、どうぞご期待ください。

チーム医療 紹介

「排尿ケアチーム」

メンバー	大野部長、小山先生、5 東宇山師長、ER 山根 Ns、北野 Pt 他
活動日	毎週月曜日午後ラウンド
活動場所	病棟を中心に活動
対象	尿道カテーテル抜去後に尿路機能障害を有する、または見込まれる患者
算定	A251 排尿自立支援加算 (週1回) 200 点 2016 年に保険収載され、結成した比較的新しいチーム



こんにちは 排尿ケアチームです！

排尿ケアチームは、泌尿器科医師・理学療法士・作業療法士・脳卒中リハビリ認定看護師・下部尿路症状排尿ケア研修修了者で構成しています。現在は残尿測定機器がある ERC と12階病棟と5 東病棟でラウンドしています。排尿は患者さんにとって大切な機能です。チームの早期介入の甲斐あって、尿閉の状態から残尿測定での適切な導尿とリハビリテーションにより膀胱機能が改善し自尿を取り戻す患者さんが多くいます。ラウンド時に医師によりエコー検査や内服処方、排泄援助方法について病棟看護師とカンファレンスを行いケアにつなげます。病棟ラウンド時、「おしっこが出るようになったよ」と患者さんが笑顔で伝えてくださる事が励みになっています。ラウンドのご希望や関心のある皆様、是非お声がけください。お待ちしております。2020年に診療報酬「排尿自立支援加算1回200点週1回」が新設されました。尿道バルンカテーテル抜去後の排尿トラブルへの介入が算定条件です。




4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社（ニホンセキジュウジシャ）

住所： 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

代表者： 社長 清家 篤（セイケ アツシ）

担当部署： 総務局財政部契約課（ソウムキョクザイセイブケイヤクカ）

担当者名： 主事 松原 昌平（マツバラ ショウヘイ）

電話番号： 03-3437-7076

F A X： 03-3433-8525

E-mail： keiyaku@jrc.or.jp

U R L： <https://www.jrc.or.jp/>